

【出題意図】

地方部においては、常に重要な問題とされている日常生活における移動の足、交通手段に関して、比較的新しい概念である MaaS（Mobility as a Service）の考えや内容についての資料を受験生に提示して、的確にそれらの内容を把握する能力と、資料をふまえた論理的思考の能力を測定する。

各設問と学部のアドミッションポリシーとの関連は以下の通りである。

問 1 AP (1) の内、特に、読解力に対応する。

問 2 AP (1) の内、特に、読解力、文章作成能力に対応する。

問 3 AP (1) の内、特に、読解力、文章作成能力に対応する。

問 4 AP (1) の内、特に、読解力、文章作成能力に対応する。

問 5 AP (1) の内、特に、基礎的な数学的思考能力に対応する。

問 6 AP (1) の内、特に、読解力、文章作成能力、AP (2)、AP (3) に対応する。

【解答例】

問 1 a 渋滞 b 顧客 c 慢性 d 金融

問 2

狭義の事例は、資料 B にある Whim である。多くの乗り物の情報を集約して、スマホのアプリを通じて、利用者が情報を得て、予約や決済サービスを受けられるが、移動型店舗などのサービスは提供されていない。(94 字)

問 3

モビリティ基本法では、カーボンニュートラルを目標とし、地域が抱える移動の課題を解決しつつ、新しい移動サービスを積極的に取り入れた交通戦略を推進し、モビリティ分野のデジタル化を同時に進める政策が盛り込まれている。モビリティ分野の官民データ連携基盤をいち早く構築し、地方行政がデータを基にした都市経営にシフトできるよう、国家がそれを支える仕組みを整えてきた。具体的な事業としては、既存の公共交通機関だけではなく、カーシェアリングや自転車シェアリング、相乗り、EV 充電施設など、様々な移動に関するデータを集約し、新しい移動支援サービスや都市経営のための基盤を非常に短期間で実装してきた。(289 字)

問 4

スマートフォンを使用していないが、様々な交通手段を利用することができること、追加料金無しにエリア内の多くの施設に入場できるとともに、他の様々なサービスも同時に利用できることから MaaS として紹介できるため。(98 字)

問5

(1) 当初  $17 \text{万人} \times 7/100 = 11,900 \text{人}$

2030年  $17 \text{万人} \times 14/100 = 23,800 \text{人}$

よって、11,900人から23,800人に引き上げる目標

(2) 1日1トンを9カ月×30日(270日)なので、270トン

(3) ①～③の値を求めて、各回の報酬を合計して1日の報酬を出す。

①  $2 \text{ユーロ} + 2 \text{ユーロ} = 4 \text{ユーロ}$

②  $4.8 \text{ユーロ} - 2 \text{ユーロ} = 2.8 \text{ユーロ}$

2.8ユーロになる走行距離は  $20\text{km} + 8\text{km} = 28\text{km}$

③  $4 \text{ユーロ} + (2 \text{ユーロ} + 1 \text{ユーロ}) = 7 \text{ユーロ}$

よって、合計報酬は  $4 + 4.8 + 7 = 15.8 \text{ユーロ}$

問6

行政が生活者の日常的な移動サービスとして MaaS を進めていく際に重要なことは、資源が有効活用できるためのデータ連携基盤を整備、活用することで、医療などの移動目的と移動サービスが合体したような付加価値の高いサービスを提供していくことが重要と思われる。その際、バスやタクシー自体も自動運転車を活用できるようになるとよいだろう。以下、各資料中の具体例や重要なポイントを示す。

資料 B では、病院で診察してもらう際に、病院の混み具合を予測して最適な出発時間や交通経路を提示する医療サービスと交通の一体化について書かれている。

資料 E では、車中心の生活をしている住民への対応が書かれている。短期的にはオンデマンドの相乗りバスやタクシーが重要な役割を果たし、中長期的にはそのバスやタクシーが自動運転車になると考えられるため、そこに向かうための政策が求められる。

資料 F では、データ連携基盤について書かれている。フランスでは、新たな移動サービス事業者が進出する場合、移動サービスのデータ提供が求められる。これら移動サービスを一元化した官民データ連携基盤を構築している。このことにより、様々な移動に関するデータが集約され、新しい移動支援サービスが短期間で社会実装されていくことが重要である。

そのためには、資料 C にある、MaaS のレベル 4 の政策の統合までできることが重要で、限られた資源でより有用な市民サービスを提供できると思われる。

(598 文字)